

## Press Release

平成 28 年 5 月 19 日  
株式会社幹細胞&デバイス研究所 (SCAD)  
〒600-8491 京都市下京区鶏鉾町 480 番地  
オフィス・ワン四条烏丸 11 階  
075-744-1114  
<http://scad-kyoto.com/>  
[scad.info@scad-kyoto.com](mailto:scad.info@scad-kyoto.com)

### シリーズ A 第三者割当増資の決定について

iPS 細胞由来の心筋組織片を開発、製造販売する株式会社幹細胞&デバイス研究所 (Stem Cell & Device Laboratory, Inc. 以下「SCAD」) (本社：京都市下京区、代表取締役：加藤謙介) は、京都大学イノベーションキャピタル株式会社 (京都 iCAP) (本社：京都市左京区、代表取締役樋口修司)、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 (本社：東京都中央区、代表取締役：石橋達史) および株式会社ケイエスピー (本社：神奈川県川崎市、代表取締役：内田裕久) がそれぞれ運営する投資事業有限責任組合の 3 者を引受先とする総額 2 億円の第三者割当増資を実施致します。

SCAD は京都大学物質 - 細胞統合システム拠点 (iCeMS) の中辻憲夫名誉教授 (設立拠点長) らが開発した多能性幹細胞関連技術やナノテクノロジー/マイクロエンジニアリングの研究成果を活用して心筋組織片を開発しており、創薬アッセイ市場向けの製造販売を目指しています。

製薬業界では、iPS 細胞由来の心筋細胞を創薬プロセスに応用することが検討されていますが、本格的な活用には、高い機能性 (成熟性) とその機能安定性の向上が課題となっています。SCAD ではこれらの課題を克服する開発を進めており、次世代の心筋組織片として、特に高い成熟性と安定性を持つことを特徴としています。

SCAD では、本年 5 月までに海外企業への心筋組織片のサンプル出荷を開始しており、今回の資金調達によって、製品化開発を加速させ、早期の販売開始を図ります。また、これら先進的な研究成果の実用化と事業化を通じて、健康社会への貢献を進めて参ります。

以上